

## No.73 サンデー・ジャック・アクパン —無題—

Sunday Jack Akpan

北川フラムさんのコラム / 1996 (平成8) 年 1月1日付 立川市市報記事より

サンデー・ジャック・アクパンの、ナイジェリアの14人の首長たちは楽しい。カラフルな正装をしてリアルに鎮座ましましている彼らの前や、場合によってはその中に入って記念撮影をしている人をよく見かける。ナイジェリアの市場そのままのようなアクパンの肖像たちがあるだけで、ファーレ立川は明るく輝いている。

作品の作り方は簡単で、私たちが海辺でよくやるように砂で前と後の型をつくり、コンクリートを流し込む。これと、別に作った首や手足や持ち物を接続し、後は彩色して終わりだ。もちろん、コンクリートのなかに鉄筋は入っている。

村人は、自分の一番良い姿をアクパンに作ってもらい、その像が死後墓に建てられる。これらの像の前で喜ぶ子もいれば、泣き出す子もいて、その反応を見るのも楽しいのだ。

作家のメッセージ / 日本住宅公団 (現: UR 都市機構) 「ミニ通信」より

このプロジェクトに参加でき大変嬉しく思っております。

すべての人が私の作品を楽しんでくださることを願っております。

私の彫刻は、ナイジェリアの州の首長の像です。

私は彼らの装いを通して、私たちの文化をお見せしたいと思っております。

私は自分の作品を提供するために行く先々で、様々な文化間の関係を発展させていってくれるよう、人々を励ましたいと思っています。

この度の私の作品が、日本とナイジェリアのつながりをよいものとしてくれるよう願っています。

また、世界のすべてのギャラリーに、世界中の様々な美術作品を紹介する機会を増やしていただきたいと思います。

このプロジェクトのために私を、様々な国のアーティストの一人に選んで下さった北川さんとギャラリーのスタッフに感謝します。

私は彼らと一緒に、大変楽しく日本で仕事をさせていただきました。